

令和3年社会生活基本調査に関する研究会の開催について

（ 令和2年5月14日
総務省統計局統計調査部
国勢統計課労働力人口統計室 ）

1 目的

令和3年社会生活基本調査の調査事項、集計事項、調査方法等について検討することを目的として、「令和3年社会生活基本調査に関する研究会」（以下「研究会」という。）を開催する。

2 検討課題

- (1) 調査事項及び集計事項について
- (2) 調査方法について
- (3) その他

3 構成員

- (1) 研究会の構成員は、別紙のとおりとする。
- (2) 必要に応じ、審議協力者として、総務省統計局統計調査部国勢統計課労働力人口統計室長が指名する構成員以外の者の参加を求めることができる。

4 開催

令和2年度に数回開催する。

5 運営

- (1) 研究会の庶務は、総務省統計局統計調査部国勢統計課労働力人口統計室において処理する。
- (2) 研究会の配布資料は、会議終了後ホームページで公表するとともに、議事概要は事務局において取りまとめ、速やかにホームページ上で公表する。

別 紙

令和3年社会生活基本調査に関する研究会の構成員等

<構成員>

| | |
|-----------------|-------------------|
| 石 田 賢 示 | 東京大学社会科学研究所准教授 |
| 勝 浦 正 樹 | 名城大学経済学部教授 |
| 黒 田 祥 子 | 早稲田大学教育・総合科学学術院教授 |
| ◎ 玄 田 有 史 | 東京大学社会科学研究所教授 |
| 鈴 木 奈穂美 | 専修大学経済学部教授 |
| 東京都総務局統計部人口統計課長 | |

<総務省統計局出席者>

総務省統計局統計調査部長

総務省統計局統計調査部調査企画課長

総務省統計局統計調査部国勢統計課労働力人口統計室長

総務省統計局統計調査部国勢統計課労働力人口統計室調査官

(敬称略・◎は座長)